片山 美穂 教授
博士(保健学)
Miho Katayama
✉ miho.katayama@komatsu-u.ac.jp

その人のストレングス(つよみ)に注目

研究 Keyword　ストレングスを活用した支援　育児中の母親の支援　母親のメンタルヘルス　ストレングスモデル　精神保健看護教育　看護実習

プロフィール
2018年　金沢大学大学院　医薬保健学総合研究科　保健学専攻　博士後期課程　修了
2020年　公立小松大学　保健医療学部　看護学科　助教
2021年　公立小松大学　保健医療学部　看護学科　講師
2023年　公立小松大学　保健医療学部　看護学科　准教授
2025年　公立小松大学　保健医療学部　看護学科　教授

研究分野
精神保健看護学

所属学協会
日本看護科学学会、日本精神保健看護学会、日本看護研究学会、日本うつ病学会、
日本周産期メンタルヘルス学会、日本精神障害者リハビリテーション学会、日本看護学教育学学会、
看護実践学会

専門分野・研究分野

生きにくさを変えるストレングス.
視点を変えると支援が変わる

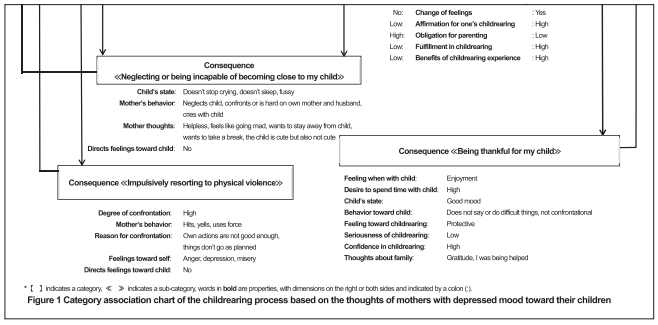
支援アプローチには、その人の「問題」に注目し、改善・解決していく方法があります。しかし、支援を受ける側は問題を指摘され提案された解決策では、頑張りが続かない場合がありました。別の支援アプローチとしてストレングスモデルがあります。このストレングスモデルは、誰もが持っている「問題と付き合っていく力」を信じ、その人自身がなりたい姿に向かっていく「希望」を支援するアプローチです。このモデルは、その人の「ストレングス＝つよみ」に焦点を当て、それを活用してその人の夢やなりたい姿の達成を目指します。支える人と支えられる人の関係は、お互いに尊重し合うパートナーシップに基づいています。ストレングスを支援に活かすことによって、生きにくい状況を持ちながらも地域で生活する人々の自信を培い、いきいきと自らの夢に向かって行動する変化が期待できます。 また、支援する側にもポジティブな変化が起こっている可能性があります。

研究内容

ストレングスモデルでその人の夢や生き方、支援者を支える

これまで育児中の母親を対象に、抑うつ状態にある時の育児、子供に思わず手が出てしまう時の育児、夫の支援が育児に与える影響、「子どもを愛せない」ボンディング障害の状態にある時の育児について、何が起こっているのかを明らかにしてきました。それらの状況にある母親は自分の行動を自覚し、自分の行動を何とかしたいと願っていました。そして、どの母親も自身がもつストレングス（つよみ）に気づかずに育児している姿がありました。そこでまず、母親の持つストレングスとは何かを解明しようと取り組んでいます。また、ストレングスモデルを活用する支援者側には何が起こるのかについての解明にも取り組んでいます。

これら両者に起こることが明らかになれば、より効果的な支援の在り方につながると考えています。



* 【 】indicates a category, ≪ ≫ indicates a sub-category, words in **bold** are properties, with dimensions on the right or both sides and indicated by a colon (:).
Figure 1 Category association chart of the childrearing process based on the thoughts of mothers with depressed mood toward their children

シーズ・地域連携テーマ例
- 育児中の母親へのストレングスを活用した支援
- ストレングスモデルの看護基礎教育における効果

論文
- How Nursing Students' Perceptions of People with Psychiatric Disabilities Change When Using the Strengths Model During Practicums: A Qualitative Research Study. M. Katayama, R. Aijo, K. Kitaoka,. et al. Nurse Education Today, 2024
- 看護学生が精神保健看護実習で ストレングスモデルを自身の看護に取り入れるプロセス，片山 美穂，相上 律子，北岡 和代，日本精神保健看護学会誌，32(2)，32-40，2023
- Mothers with depressed mood: help-seeking from husbands and child-rearing behaviors, Miho Katayama, Kazuyo Kitaoka, Ritsuko Aijo, BMC Wemen's Health, https://doi.org/10.1186/s12905-022-01604-5, 2022
- 看護専門学校生に対する"支援ツール"を用いた学校生活支援の実践報告，片山美穂，鈴木由依子，北岡和代他，看護実践学会誌，34(1)，43-50，2022
- 子を叩いてしまう母親に対する育児友達役割，片山美穂，北岡和代，相上律子，日本周産期メンタルヘルス学会会誌，6(1)，83-88，2020
- 抑うつ状態にある母親が子どもに感じる思いから辿る育児プロセス，片山美穂,北岡和代他，日本看護科学会誌，39，174-182，2019
- Psychosocial process in mothers with depressed mood who continue to fulfill their parenting responsibilities, Katayama M, Kitaoka K, Journal of Wellness and Health Care, 41, 9-22, 2018

講演・口頭発表等
- ストレングスモデルは看護学生の精神障害をもつ当事者の捉え方に何を起こすのか？，片山美穂，相上律子他，第44回日本看護科学学会学術集会，2024.12
- 看護実習において看護学生がストレングスモデルを看護に活用するプロセス，片山美穂，相上律子他，第43回日本看護科学学会学術集会，2023.12
- Adoption of Strengths-Based Approaches to Patient Care among Nursing Students. Katayama M，Aijo R，Kitaoka K，25th EAFONS 2022，2022.10
- Process of changing emotions toward the child in a mother with bonding disorder，M. Katayama, et al, 25th East Asian Forum of Nursing Scholars，2022.4
- Mothers with Depression in Japan；Help-Seeking from Husbands and Child-Rearing Behaviors. Katayama M，Kitaoka K，Aijo R，24th EAFONS 2021，2021.4

競争的資金等の研究課題
- 虐待的育児リスクのある母親へのストレングスモデル適応の検証，科学研究費助成事業(若手研究)，2022-2025
- 看護基礎教育におけるストレングスモデルの教育効果，公立小松大学重点研究「みらい」助成 2021-2023
- ボンディング障害と虐待的育児との因果関係の解明，科学研究費助成金（スタート支援），2020-2021